

ALPS 処理水希釈放出設備 現地確認結果 報告書(概要)

確認年月日	令和5年9月20日(水)	確認目的	海洋放出終了後のALPS処理水希釈放出設備点検状況の確認	
確認箇所	放水立坑(上流水槽)、多核種除去設備等処理水移送配管			
確認設備	<input type="checkbox"/> 測定・確認用設備	<input checked="" type="checkbox"/> 移送設備	<input checked="" type="checkbox"/> 希釈設備	<input type="checkbox"/> その他

第1回目の放出が8月24日から9月11日に実施され、放出終了後はALPS処理水希釈放出設備の点検が行われることから、その状況を確認した。

また、9月6日にALPS処理水希釈放出設備の移送配管において、屋外ベント弁フランジ部の漏えい警報(原因は雨水の浸入であり、処理水の漏えいは無し)が発生し、東京電力が類似箇所の調査を実施していたことから、現場の状況を確認した。

【上流水槽における点検作業の状況】

- ・ 上流水槽内は水が抜かれており、床面を確認するために土砂が除去された状態であった。(写真1)
- ・ 東京電力によると、ひび割れや防水塗装の亀裂等、有意な欠陥は確認されず、今後は計画的に点検を行っていく予定とのこと。

【ALPS処理水希釈放出設備移送配管ベント弁の状況】

- ・ ベント弁1, 2については、9月19日に点検が実施されていたことから、その他のベント弁について確認を行った。
- ・ ベント弁4を確認したところ、東京電力及び協力企業により、防水カバーを取り外した状態で内部の点検作業が行われていた。(写真2)

確認結果



(写真1) 上流水槽床面の状況



(写真2) ベント弁4の点検作業の状況